

11日 金曜

ホセア

9:1 イスラエルよ、喜ぶな。諸国の民のように楽しむな。あなたは自分の神に背いて姦淫したからだ。あなたはすべての麦打ち場で姦淫の報酬を愛した。

9:2 打ち場も踏み場も彼らを養わない。新しいぶどう酒も彼らを裏切る。

9:3 彼らは【主】の地に住むことはない。エフライムはエジプトに帰り、また、アッシリアで汚れた物を食べる。

9:4 彼らは【主】にぶどう酒を注がず、自分たちのいけにえで主を喜ばせない。彼らのパンは喪中のパンのようで、これを食べる者はみな身を汚す。彼らのパンは自分のためだけ。【主】の宮に持ち込むことはできない。

9:5 例祭の日、【主】の祭りの日に、あなたがたは何をするのか。

9:6 見よ。彼らが破壊を逃れても、エジプトが彼らを集め、メンフィスが彼らを葬る。彼らが慕う銀には、いらくさが、彼らの天幕には、あざみがはびこる。

9:7 刑罰の日が来た。報復の日が来た。イスラエルに知らせよ。預言者は愚か者、霊の人は気のふれた者だ。これは、あなたの大きな不義のゆえ、激しい敵意のゆえである。

9:8 エフライムの見張りは、私の神とともにいる。しかし預言者には、すべての道に罾が仕掛けられ、彼の神の家には憎しみがある。

9:9 彼らはギブアの日のように、心底まで墮落した。主は彼らの咎を心に留め、その罪を罰する。

ここで姦淫とは、神様以外のものを神のように頼り従うことです。それゆえ神の守りはなくなり、イスラエルは苦難の日々を過ごすことになるのです。



それは私たちも同じです。

刑罰の日が来ても、イスラエルは悔い改めることをしませんでした。神様から離れた心もまた、苦難の日ひ神様を求めることに思いが及ばず、目先の解決を図ろうとします。苦難の日に主に立ち返りましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

